

日本経済はどこに向かっていくのか？

一橋大学大学院教授 齊藤 誠さいとう まこと

- * 日本経済を巡る数々の誤解について
- * ここ15年以上、デフレ現象はない
- * 物価に影響するのは交易条件
- * 今の為替はブラザ合意以前の円安水準
- * なぜ輸出主導の景気回復は無かったのか
- * 株価上昇の実態
- * 純設備投資はほとんど伸びていない
- * 日本経済低迷の原因は交易条件の悪化
- * 日本銀行の現状はどうなっているか
- * GDP 60兆円の無謀



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、2年ちょっとぶりになりますか、齊藤誠先生においていただきました。前回は、石橋湛山賞を受賞された記念講演でございまして、『原発危機の経済学』という事でご受賞されたわけでございますが、ご専門からちょっと離れたところを、原発危機発生からたいへん短時間に、優れたご本をお書きになって、われわれも驚かされたわけでございます。今日はオートドックスに日本経済の状況について、きちんとデータや実績に基づいてお話をしていただけだと思います。社会の現在の状況、動きについて、鋭くごらんになっている先生でございますが、単に悲壯的な話ではなくて、アベノミクスの本質、日本経済の今後の本質的な問題について、

お話をいただけると幸いです。

それでは先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

齊藤 今ご紹介にあずかりました一橋大学の齊藤です。

今日は「日本経済はどこに向かっていくのか？」という題で講演させていただきましたが、この経済倶楽部で講演させていただくのは今回で2度目です。実は私は、マクロ経済学と金融を専門としていて、石橋湛山賞をいただいたのは、『原発危機の経済学』という本でした。ただ、その後も震災の研究はずっと続けていまして、東洋経済が120周年記念ということで、日本学術振興会と東日本大震災学術調査委員会——これは文部科学省と学術振興会の組織な